

検討会の進め方（案）

1 検討テーマ

土砂災害時の救助活動のあり方

2 目的

近年、東京都伊豆大島の土石流などの大規模な土砂災害が頻発しており、今後、気候変動の影響により、土砂災害等の危険性はますます高まると予測されている。大規模な土砂災害の救助活動においては、二次災害の危険性が高い中で、長時間にわたり広範囲に及ぶ活動が必要であり、また、その実施においては、救助機関、医療機関、土木担当部署等との緊密な連携が不可欠となる。このような救助活動の手法は現在のところ標準化されておらず、過去の活動の教訓等も体系的に整理されていない。

このため、実災害での経験を踏まえ、国内外の先進的な取組も参考としつつ、大規模な土砂災害での救助活動を安全かつ効率的に実施するための活動要領の検討を行う。

3 主な検討事項（別添資料 3 - 2 参照）

- （１）関係機関との緊密な連携活動要領
- （２）早期に救助活動を開始するための状況把握方法とその情報を活用した検索場所の選定要領
- （３）二次災害を防止するための安全管理の手法
- （４）効率的な救助活動要領
- （５）資機材の効果的な活用方法

4 検討方法

上記の 5 つの検討事項について、過去の災害事例等（別添資料 3 - 3 参照）における教訓や課題を抽出し、これに対応した取組や新たな技術・手法に関する調査を行う。

これらの調査結果に基づき、救助活動のあり方についての検討を行うとともに、この検討結果を踏まえ、救助活動要領の作成を目指す。検討については、別添資料 2 の構成員による検討会において行う。

5 検討スケジュール

回数	開催日	主 な 議 題
第 1 回	平成 2 6 年 7 月 1 日	○検討会の進め方 ○事例報告（長岡市消防本部・田辺市消防本部・東京消防庁）
第 2 回	同 9 月下旬	○土砂災害現場における対応に関する報告（国土交通省） ○災害事例等の調査結果の報告 ○抽出された課題への対応方針の検討
第 3 回	同 1 1 月中旬	○対応方針に基づく標準的な活動要領の検討 ○報告書骨子案の検討
第 4 回	平成 2 7 年 1 月中旬	○報告書案の検討